

当センターでは、さまざまなこころの不安・悩み、心理・発達的問題について、ご相談に応じます。なお、ご相談の内容について秘密は固く守られます。

申し込み方法 *必ず事前にお電話にてお申し込みください。(完全予約制)

電話番号 : 075-325-5281
受付時間 : 月~土 (祝祭日除く) 午前10時~午後5時
開室時間 : 月~金 午前10時~午後7時 土 午後10時~午後5時 (祝祭日除く)
料金 : (初回) 3,000円
(2回目以降) 個人面接2,000円 / 親子並行面接3,000円
面接時間 : 1回50分
面接担当者: 大学院生 (臨床心理コース専攻)、研究生 (本大学院修了生)
専任カウンセラー、本学教員
*その他、詳細はお電話にてお問い合わせいただくか、下記HPをご覧ください。

URL : <http://www.koka.ac.jp/facilities/counseling.html>

地図・交通機関ご案内



阪急京都線

「西京極駅」下車 徒歩7分

JR

京都駅からバス約25分
「光華女子学園前」下車 徒歩1分
京都バス...81・83・84系統
市バス...27・32・73・80・84系統

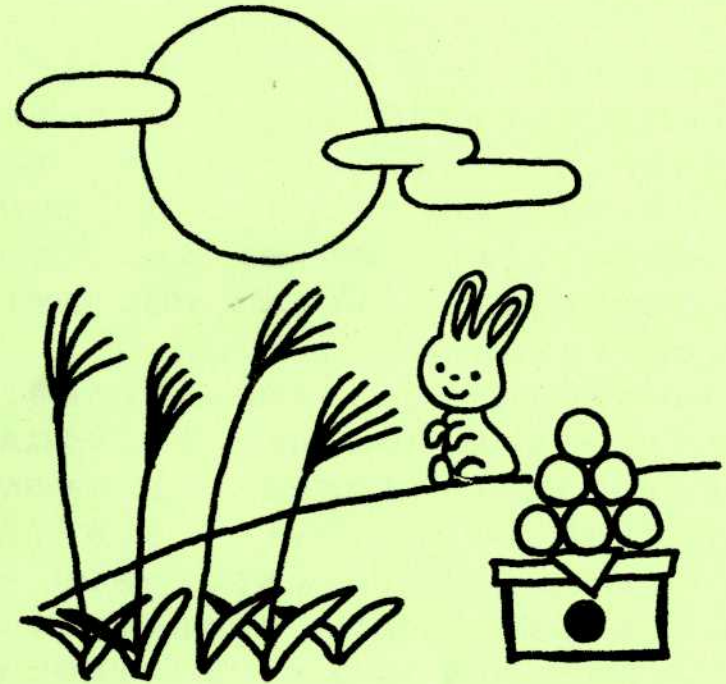
センター受付事務室

五条通 北側
京都光華女子大学内
慈光館地下1階

光華*こころの手帳 編者 徳田仁子 (古賀・武田・谷越)
—第5号— 発行者 センター長 石附 敦
発行所 京都光華女子大学カウンセリングセンター
〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38

光華*こころの手帳

第5号



京都光華女子大学

カウンセリングセンター

平成20年10月発行

◆ ◆ ◆ ご挨拶 ◆ ◆ ◆

金木犀の香る今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。おかげさまで心の手帳も第5号を発行することができました。

一日ごとに秋の色が濃くなっております。涼しくなり過ごしやすくなりましたが、夏の疲れが残りにやすい時季でもあります。体と心はお互いに影響しあっています。こころに溜まった疲れを当カウンセリングセンターで和らげるお手伝いのできたらと思います。



石谷みつる(本学教授・臨床心理士)



「親のように子は育つ」

子供の成長は親が思っている以上に早い。家庭でこれまで見せなかったようなやさしい気遣いをして見せて親が感心させられることもあれば、難しいことわざを使いこなして「一体どこで覚えてきたの？」と驚かされることもある。しかし成長の中身はこのように良いことばかりではない。人の気持ちもわかるだろうと思われる年齢の子供が、友達に対して心を傷つけるような冷酷な態度を平気でとることもあれば、周囲に不快感を与えるようなマナーの悪さを示す場合もある。

これらの日々の変化は全て、子供たちが日頃過ごしている他者との関わりの中で生じてきているものだ。良いことも悪いことも、子供は意識せずにスーッと身に沁みこませてしまう柔軟さを持っている。中身のない言葉などは聞かず、非言語的なものをよくキャッチしている。親が子供の身の振り方を見て我が身を思い起こすことはよくあることであるが、年齢が低いほど身近に居る親の影響力は当然大きい。学童期も小学校高学年ぐらいになってくると、友達からの影響力がそれまでに比べて相対的に大きくなってくるが。

家庭内の雰囲気は感受性の鋭い子供にとっては、何よりもダイレクトに影響するものだ。両親の関係がギクシャクしていると、子供の前ではそれを悟らせないよう努めていても、その雰囲気をかなり正確に察知している。その辺の勘の鋭さは子供だからとあなどれない。そして子供は様々な形でその雰囲気に反応する。一見して何も示さないかに見える場合でも、必

ずどこかで反応をしていると思ったほうがよい。中には言葉で「お父さんとお母さんは仲が悪い」とスパッと言う子供もいる。この言葉の裏には「お父さんとお母さんに仲良くなってもらいたい」という期待がこめられている。こう言ってもらえるのはたいへん幸運なことだと思う。

しかし大部分の子供は身体化や行動化によって反応する。例えば熱を出して学校を休みがちになったり、人間関係において粗野な言動が急増したりするなどであるが、これらは一般の子供によく見られる変化である。ただし何か問題が生じた時に、「これは親の責任だ」と安直に解釈するのは危険である。なぜならいじめや深刻な病気がその引き金になっている場合も実際にあるからだ。

今も昔も、子供のことは母親の責任だと見られる風潮は変わらずに存在している。母親は自分なりに頑張っていて子育てしておりとりたてて咎められるようなことなど何もしていなくても、「母親がああだから…」という目で世間に見られがちである。それは先に述べたように、子供は何でもスーッと心の中に取り込んでしまうところがあるからだと考えられる。なんでもかんでも親のせいにする風潮に筆者は同調しているわけではない。しかしこのことは全ての親が肝に銘じ、親としての自覚と責任を持って日々の子育てに奮闘すべきことであろう。周りの大人のように子はな



大学院生コラム

犬を飼い始めて11年目。赤ちゃんの頃から育ててきました。時には真夜中に寝しそうになくため、私は起きて抱っこをし、犬が寝るまで傍にいました。しかし、今では立派な大人です。大人になっても、犬は人間の言葉を話すことができないので「会話」はできません。けれども今となっては、何を望んでいるのか、うれしいのか、楽しいのか、嫌なのか、寂しいのか表情やしぐさから、わかる気がします。人間も同じなのでは？と思います。話してくれるとわかりやすいけれど、それよりも相手がしゃべらなくても相手のことを考えてみるのが大事なんじゃないかなと、ふと思います。(K)